



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月3日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 三栄コーポレーション  
コード番号 8119 URL <http://www.sanveicorp.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 敬幸  
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 小平 敏之 TEL 03-3847-3500  
四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	37,760	△0.2	2,251	3.0	1,954	△14.3	1,081	△33.1
28年3月期第3四半期	37,853	17.2	2,185	280.7	2,282	228.2	1,616	245.1

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,569百万円 (△2.8%) 28年3月期第3四半期 1,615百万円 (45.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	453.51	444.43
28年3月期第3四半期	683.38	666.80

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	24,189	12,199	50.0	5,065.32
28年3月期	23,047	11,054	47.5	4,610.85

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 12,093百万円 28年3月期 10,951百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	50.00	—	110.00	160.00
29年3月期	—	60.00	—		
29年3月期（予想）				60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

28年3月期期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 特別配当 60円00銭

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	1.2	2,500	5.9	2,300	△5.1	1,400	△2.5	586.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規一社（社名）、除外一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	2,552,946株	28年3月期	2,552,946株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	165,484株	28年3月期	177,797株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	2,384,743株	28年3月期3Q	2,366,143株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記事等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国経済の下振れ懸念や英国のEU離脱問題に米国の政権移行に伴う動揺も加わるなど海外情勢に先行き不透明感が強まりましたが、政府・日銀による経済金融政策を背景に企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、緩やかな回復基調を辿りました。

こうした状況下、当第3四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、国内向けOEM事業は引き続き好調であったものの、海外向けOEM事業の売上げが伸び悩んだことから、前年同期比0.2%減少の377億6千万円となりました。

利益面につきましては、売上高は微減となったものの、売上総利益率が改善したことから、売上総利益は前年同期比7億1千7百万円増加の106億6百万円となりました。営業利益につきましては、販管費の増加額が売上総利益の増加額を下回ったことから、前年同期比6千5百万円増加の22億5千1百万円となりました。経常利益につきましては、主に円高による為替予約の実現損を計上したことにより、前年同期比3億2千7百万円減少の19億5千4百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、一昨年9月末に発生した子会社台北事務所火災事故に係る最終損失見込額やブランド販売子会社における商品自主回収費用といった特別損失の計上などにより、前年同期比5億3千5百万円減少の10億8千1百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### (家具・家庭用品事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比5.3%増加の202億9千4百万円となりました。国内向けOEM事業では、家具および家庭用品ともに堅調に積み上がりました。一方、海外向けOEM事業では、欧州向け家庭用品の売上げは増加しましたが、欧州向け家具や米国向け家庭用品の売上げが低迷した結果、海外向けOEM事業全体では売上げが減少しました。ブランド事業においては、ドイツブランド「WMF（ヴェーエムエフ）」や「Silite（シリット）」等の高級キッチンウェアを販売するヴェーエムエフジャパンコンシューマーズ㈱の売上げが増加しました。また、家具・インテリアのネットショップ「MINT（ミント）」の売上げも拡大しました。

セグメント利益については、売上高の増加に加えて売上総利益率の改善もあり、前年同期比8億8千5百万円増加の16億3千1百万円となりました。

#### (服飾雑貨事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比8.3%減少の106億2千6百万円となりました。国内向けOEM事業では、ステーションナリー商材の売上げは好調だったものの、トラベル商材等の売上げが減少した結果、国内向けOEM事業全体の売上げは減少しました。また、中国向けのトラベル商材の売上げが減少した結果、海外向けOEM事業の売上げは減少しました。ブランド事業においては、ドイツのコンフォートシューズブランド「BIRKENSTOCK（ビルケンシュトック）」等を販売する㈱ベネクシーの売上げが前年実績を下回った一方、ベルギー発のプレミアム・カジュアルバッグブランド「Kipling（キプリング）」を販売する㈱L&Sコーポレーションの売上げは増加しました。

セグメント利益については、売上総利益率は改善したものの、売上高の減少に加えて、ブランド販売子会社において不動産賃借料や広告宣伝費などの販管費が増加したことから、前年同期比4億7千8百万円減少の7億5千9百万円となりました。

#### (家電事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比4.2%増加の47億9千8百万円となりました。国内向けOEM事業では、小物生活家電の売上げが増加しました。一方、海外向けOEM事業では、三發電器製造廠有限公司の売上げが前年実績を下回りました。ブランド事業においては、㈱mhエンタープライズの売上げが「Vitantonio（ビタントニオ）」ブランドの調理家電を中心に伸長しました。

セグメント利益については、売上高は増加しましたが、売上総利益率が低下したこと、ブランド販売子会社において商品開発費などの販管費が増加したことから、前年同期比2億7千2百万円減少の1億5千9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11億4千1百万円増加の241億8千9百万円となりました。

主な資産の変動は、「現金及び預金」が9億9千3百万円減少する一方、「受取手形及び売掛金」が12億1千7百万円、「その他(デリバティブ債権)」が9億2千7百万円、それぞれ増加しております。

主な負債の変動は、「支払手形及び買掛金」が9億5千3百万円減少する一方、「短期借入金」が11億5千4百万円増加しております。

主な純資産の変動は、「為替換算調整勘定」が4億3千7百万円減少する一方、「繰延ヘッジ損益」が8億5千万円増加しております。

この結果、自己資本比率は50.0%、1株当たり純資産は5,065円32銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成28年10月28日付「平成29年3月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)」にて公表いたしました平成29年3月期の連結業績予想および平成28年5月13日付「平成28年3月期 決算短信[日本基準](連結)」にて公表いたしました平成29年3月期の個別業績予想をそれぞれ修正しております。

詳細につきましては、本日付で別途公表しております「平成29年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,466,931	2,473,334
受取手形及び売掛金	6,565,416	7,783,145
商品及び製品	6,017,509	5,880,716
仕掛品	75,025	50,418
原材料及び貯蔵品	168,500	153,700
繰延税金資産	378,337	148,575
前渡金	78,740	311,275
前払費用	122,715	102,184
短期貸付金	1,356	406
その他	137,723	1,157,551
貸倒引当金	△5,214	△6,752
流動資産合計	17,007,043	18,054,558
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	1,237,823	1,250,704
機械装置及び運搬具(純額)	162,792	140,821
工具、器具及び備品(純額)	127,390	189,997
土地	814,683	792,104
リース資産(純額)	23,606	17,576
建設仮勘定	94,564	88,488
有形固定資産合計	2,460,861	2,479,692
<b>無形固定資産</b>		
無形固定資産合計	337,351	328,405
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,617,828	2,648,604
長期貸付金	14,411	14,064
繰延税金資産	36,229	38,316
破産更生債権等	844	844
その他	620,490	670,659
貸倒引当金	△47,230	△46,001
投資その他の資産合計	3,242,574	3,326,487
固定資産合計	6,040,787	6,134,585
資産合計	23,047,830	24,189,144

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,467,584	1,514,171
短期借入金	3,600,000	4,754,052
1年内返済予定の長期借入金	200,000	50,000
リース債務	8,442	8,442
未払法人税等	422,656	396,077
繰延税金負債	—	229,681
賞与引当金	475,018	301,056
役員賞与引当金	73,409	18,992
未払金	1,337,026	1,608,043
未払費用	413,451	425,931
未払消費税等	144,002	85,512
火災関連損失引当金	104,087	—
商品自主回収関連損失引当金	—	76,997
その他	940,544	517,729
流動負債合計	10,186,225	9,986,688
固定負債		
長期借入金	1,000,000	1,150,000
リース債務	16,344	10,012
繰延税金負債	470,300	506,573
再評価に係る繰延税金負債	70,058	70,058
退職給付に係る負債	153,727	160,285
役員退職慰労引当金	33,489	34,435
資産除去債務	54,030	57,978
その他	9,600	13,628
固定負債合計	1,807,549	2,002,973
負債合計	11,993,775	11,989,661
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000,914	1,000,914
資本剰余金	655,400	656,774
利益剰余金	8,529,056	9,167,786
自己株式	△233,450	△217,463
株主資本合計	9,951,921	10,608,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,140,368	1,175,047
繰延ヘッジ損益	△318,115	532,540
土地再評価差額金	75,517	113,767
為替換算調整勘定	101,756	△336,119
その他の包括利益累計額合計	999,526	1,485,236
新株予約権	85,845	87,010
非支配株主持分	16,761	19,222
純資産合計	11,054,054	12,199,482
負債純資産合計	23,047,830	24,189,144

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	37,853,467	37,760,106
売上原価	27,964,519	27,153,763
売上総利益	9,888,947	10,606,343
販売費及び一般管理費		
販売費	1,756,615	2,058,898
一般管理費	5,946,670	6,295,914
販売費及び一般管理費合計	7,703,286	8,354,812
営業利益	2,185,660	2,251,530
営業外収益		
受取利息	7,076	4,943
受取配当金	35,719	36,818
為替差益	91,886	—
その他	21,849	10,618
営業外収益合計	156,531	52,380
営業外費用		
支払利息	41,612	32,303
為替差損	—	315,944
デリバティブ評価損	16,901	—
その他	1,634	945
営業外費用合計	60,149	349,194
経常利益	2,282,043	1,954,717
特別利益		
固定資産売却益	2,558	1,764
特別利益合計	2,558	1,764
特別損失		
固定資産売却損	—	12,751
固定資産除却損	3,340	7,030
火災関連損失引当金繰入額	—	64,499
商品自主回収関連損失引当金繰入額	—	76,997
その他	2,674	12,526
特別損失合計	6,014	173,805
税金等調整前四半期純利益	2,278,587	1,782,675
法人税、住民税及び事業税	597,079	612,940
法人税等調整額	62,198	85,776
法人税等合計	659,277	698,716
四半期純利益	1,619,310	1,083,959
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,332	2,460
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,616,977	1,081,498



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	1,619,310	1,083,959
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	356,421	34,679
繰延ヘッジ損益	△299,690	850,655
土地再評価差額金	—	38,250
為替換算調整勘定	△60,349	△437,875
その他の包括利益合計	△3,618	485,710
四半期包括利益	1,615,691	1,569,669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,613,358	1,567,208
非支配株主に係る四半期包括利益	2,332	2,460

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家具・家庭用 品事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	19,271,060	11,593,458	4,605,570	35,470,089	2,383,377	37,853,467	—	37,853,467
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,706	5,202	9,008	22,918	43,602	66,520	△66,520	—
計	19,279,767	11,598,661	4,614,578	35,493,008	2,426,979	37,919,988	△66,520	37,853,467
セグメント利益又は 損失(△)	745,688	1,238,271	432,394	2,416,354	28,576	2,444,930	△259,269	2,185,660

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△259,269千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家具・家庭用 品事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,294,212	10,626,710	4,798,765	35,719,687	2,040,418	37,760,106	—	37,760,106
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,634	13,697	7,576	29,908	40,713	70,622	△70,622	—
計	20,302,846	10,640,407	4,806,341	35,749,595	2,081,132	37,830,728	△70,622	37,760,106
セグメント利益又は 損失(△)	1,631,225	759,763	159,475	2,550,464	△19,953	2,530,510	△278,979	2,251,530

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△278,979千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。